

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 12月 30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101654		
法人名	有限会社かざぐるま		
事業所名	グループホームはるかぜ		
所在地	広島市安佐北区亀山南二丁目5-20-5		
自己評価作成日	平成24年10月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年10月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者さん一人一人の思い、時間の流れを大切にし、のんびり過ごせるようにしています。また、とんどや夏祭りなど地域の行事に積極的に参加しています。ご近所の方々には普段から声を掛けていただき、日頃から大変よくしていただいています。地域の皆様に支えられているグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームはるかぜ（以下、ホーム）は、12年前に開設され、田園風景の広がる自然豊かな地域にあります。ホームは、開設当初から地域との関わりを大切にし、地域の一員として地域住民とは良好な関係を築いておられます。職員は、入居者一人ひとりの生活ペースを理解し、その人らしい生活の支援に努められています。また、ホームでは入居者も職員も「互いに楽しむ」をキーワードにしたホームづくりに努力されており、フルーツバイキングをするなど、楽しみながら過ごす工夫をされています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎月の会議で話し合っている。 また必要に応じて話し合いの場を設けている。	「一人ひとりの生活のペースが尊重され、安心して暮らせる場所であること」 「地元の人たちと新たな出会いを重ね、地域の一員としてその人らしく過ごせるホームであること」を願って、全職員が、入居者一人ひとりを尊重した支援に取り組まれています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域で行われる毎月の行事(いきいきサロン)に利用者さんと共に参加している。	自治会に加入されています。今年度は、自治会役員を引き受け、地域活動や行事に積極的に参加されています。毎月開催されるいきいきサロンへは、職員も入居者とともに参加し、地域住民と顔馴染みの関係が築かれています。また、近隣住民からは畑で採れた野菜の差し入れがあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自治会に入り、色々な行事に参加している。 実習生の受け入れをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	話し合いの場を設けて、小さな事でも話し合っている。	運営推進会議の開催を、回覧板で案内し、広く地域住民に出席を呼びかけておられます。地域の出席者からも積極的に意見や提案が出され、それらを反映し改善につながった事例もあります。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	担当者の方が時々訪問される	運営推進会議には区担当者、地域包括支援センター職員の参加があり、日頃から連絡の取りやすい関係があります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>取り組んでいるが一部理解していない職員もいた為、再度話し合いを行っている。</p>	<p>身体拘束について外部研修に参加するなど学習の機会を持たれています。具体的行為については、会議の場でも繰り返し取りあげ、拘束のない生活に取り組まれています。日中は玄関の鍵はかけず、自由に閉塞感のない暮らしを実践されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待事例を会議で取り上げ 話をする機会設けている。 講師を招いて研修を行う。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>最近学ぶ機会を持っていなかったが、制度を使いたいという希望者には使ってもらっている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>一方的な説明にならない様に気をつけている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会や運営推進会議など、定期的に機会を設け 出された意見を持ち帰り話し合っている。</p>	<p>運営推進会議後の時間を利用して、4か月ごとに家族会が開かれています。家族から出された要望、意見については、ホーム内で検討し、運営に反映するよう努力されています。また、家族からも「何でも言ってほしい」という意向が伝えられ、良い協力関係が築かれています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議等で意見交換を行い反映されていると思う。</p>	<p>毎月職員会議を開催し、ホームの運営、入居者の暮らし方、ケアプランの見直しなどについて話し合われています。職員は、日頃から気づきや提案を直接管理者に伝えることも多く、意見が言いやすい環境にあります。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>経営者・管理者・職員でキャリアアップの話し合いをしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修の案内をし、参加者を募っている。職員の参加したい研修を聞いて計画を立てている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣地域のグループホームと交流し、意見交換や勉強会を行っている。</p>		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人の思いに出来るように、ささいなことにも耳を傾け話合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	話し合いの場を設け、小さな事でも話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	訪問歯科や受診などが可能になるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事作りや洗濯物たたみ等 一緒にさせて頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の方に介助・通院・行事参加をして頂いている。 定期的に家族会を開いている。 面会時や連絡時に日頃の様子をお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	以前から行っておられる美容院を続けて利用されている。 家族と協力して個別外出ができる様企画している。	職員は、入居者が好きなこと、嫌なこと、望んでいることへの理解に努めておられます。好きなことや一生懸命になれることは、継続できるよう支援されています。入居前まで利用していたデイサービスの行事に参加し、友人との再会を喜ばれた入居者もおられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングの座る位置など配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎月会議を行い必要に応じ検討できるようにしている。 その日の状況、体調に応じて一人一人の生活リズムに沿って支援している	職員は、入居者一人ひとりのその日の体調、気分の変化に留意して、適切なケアができるよう努めておられます。自室で食事をする事で気持ちが落ち着く場合は、職員が居室と一緒に食事を摂ることもあります。また、傾聴ボランティアの協力を得て、入居者の気持ちに添えるよう努めておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の様子をご家族に聞き利用されていたサービスの事業所に行きそこでの様子も聞いた。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日誌・体調、排泄記録等 様々な方法で把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人，家族，必要な関係者と話し合い，それぞれの意見やアイデアを反映し，現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人・家族の思いや希望を聞き、時には主治医の意見も聞きそれをふまえて計画を作っている。</p>	<p>ケアプラン会議で，入居者一人ひとりの介護計画の点検，見直しが行われています。家族の思いが反映されるよう，介護計画原案を家族に確認してもらい，同意を得られています。</p>	<p>計画作成担当者は入居者一人ひとりと接する機会が少なく，職員，家族からの情報を主に介護計画を作成されています。今後は，計画作成担当者自らも，入居者と直接接する時間を設け，介護計画の作成に当たられることを期待します。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果，気づきや工夫を個別記録に記入し，職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日誌を作り，全職員が目を通すようにしている。毎月の会議でプランの見直しをおこなっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況，その時々生まれるニーズに対応して，既存のサービスに捉われない，柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>空きがあればショートステイを受け入れている。 在宅の方への食事提供をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し，本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域への参加(いきいきサロン)、傾聴ボランティアの受け入れ、実習生の受け入れ等おこなっている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は，本人及び家族等の希望を大切に，納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら，適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医に継続して受診されたり，往診して頂いている。</p>	<p>本人，家族の希望するかかりつけ医を継続受診されています。ホームの協力医による定期的な往診があり，歯科医の訪問診療も毎月行われています。また，月に2～3回，歯科衛生士による口腔ケアが行われています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>その都度、体調や気付き、情報を職場の看護職員に相談している。また受診時、往診時には外部の看護師にも相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、お見舞いに行ったり 病院と連絡を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人や家族の意向をふまえて職員が話し合いをしている。時にはかかりつけ医に協力を求めている。</p>	<p>契約時に、重度化した場合の対応方針について家族に説明が行われています。重度化した場合には、再度家族の意向を確認し、希望に沿った支援が行われています。協医療機関と連携を図りながら、職員も自然な形で支援ができるよう取り組まれています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や事故発生時に合わせたマニュアルを作っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>事業所での避難訓練を行うだけでなく地域の訓練にも参加し協力を呼びかけている。</p>	<p>年2回、昼間と夜間を想定した避難訓練が行われています。消防署からのアドバイスを参考に、通報訓練、消火設備の点検を定期的実施されています。地区自主防災会主催の訓練には、職員と一緒に車椅子の入居者も参加されました。ホームは、災害弱者登録に協力されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ともすれば、誇りやプライバシーを損ねるような対応になりがちな現状を踏まえ、職員相互に声を掛け合い指摘し合って改善を計っている。	入居者が必要としている援助のタイミングを逃さないよう、職員は的確な判断に努められています。不適切な言葉かけや対応については、職員同士注意し合うよう心がけておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ゆっくりとした声掛けを行い、ご本人の意志に寄り添う姿勢を示す事で希望を表せるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	地域行事等への参加も一人一人ご本人の希望を聞いて決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ひげそり、服装、髪形などご本人と話しながら支援している。行きつけの美容院を利用して頂いている。隔月で訪問整髪に来て頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むきや盛りつけなど、話をしながら一緒に行っている。はるかぜの畑で取れた野菜をメニューに取り入れ美味しく楽しい食事になっている。	その日の体調、気分に合わせて食事時間や場所については臨機応変に対応されています。キッチンを屋台やビアホールに見立たイベントは、入居者に大変喜ばれています。また、フルーツバイキング、そうめん流しなど、アイデアを出し合い、「食」を楽しんでおられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>状況に応じてミキサー食やトロミをつけて食べて頂いている。高たんぱく、水分を取る為に1日2回のおやつを設けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>必要に応じた食後の口腔ケア、歯磨きの声掛けをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者さん一人一人の排泄パターンを把握し支援している。</p>	<p>一人ひとりの排泄を記録し，排泄パターンを把握されています。体調の変化にも配慮しながら，昼間は声かけ，トイレへの誘導などがさりげなく個別に行われています。夜間は安眠を優先し，家族と相談のうえ，おむつを使用する入居者もおられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々にあった形で家族、医師と相談して行っている。場合によっては薬も使用している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>体調や希望に合わせて行っている。曜日、時間を決めず起床時でもシャワー浴を行っている</p>	<p>浴槽が広く深いので，敷板で底あげをし，安心して入浴できるよう工夫されています。入浴を好まない入居者には声かけのタイミングを図るなど，状況に応じた対応が行われています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	共有スペースでも横になって休めるようにしている。またご本人の希望があれば、自室で休めるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	その都度確認が出来るように薬の情報をファイルしてあり。職員はいつでも確認できる。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	テレビ体操、洗濯物たたみ、野菜の皮むき、食事の盛りつけ等 出来る事をして頂けるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	散歩に出かけられる方の見守り、畑の作物の収穫へのお誘い。地域行事への参加	日常の散歩や地域行事への参加など、できるだけ戸外に出る機会をつくり、気分転換を図られています。職員は、入居者の出かけたという思いを汲み取り、個別の外出支援をすることもあります。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	自分で管理されてる方は今現在いらっしやいませんし、ニーズもありません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族さんなどから荷物が届いた時、利用者さん自らお礼の電話や手紙が出せるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>廊下に季節行事の写真やスタッフの似顔絵などを飾っている。リビングや廊下に季節の花などを飾り季節感が感じられるようにしている</p>	<p>建物2階の居室から1階のリビングへの移動は、昇降機が設置された階段を利用されています。入居者一人ひとりの状態を常に考えながら、家具の配置を変えるなど、居心地良く、温かみのある生活空間となるよう心がけておられます。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ゆっくりと過ごせるようにソファやテーブルを置いている。利用者さんそれぞれの居場所がある</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人の希望を聞きご家族さんと相談しながら行っている。使い慣れた家具や椅子使用し、家族写真などを飾っている</p>	<p>居室は広く、ゆったりしています。入居者は身の回りの物、傍にがあると安心できる物など持ち込み、居心地良く過ごせるよう工夫されています。沢山、家族写真を飾り、いつも家族との絆を感じながら過ごされる入居者もおられます。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや、各部屋に表札を付けたりして利用者さんに分かりやすくしている。廊下に手すりを付けている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはるかぜ
作成日 24年 10月 12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	共有スペースでの一人ひとりの人格の尊重や, プライバシーへの配慮。	一人ひとりの人格やプライバシーについて再度考慮する。	申し送り等をご本人の前や, 共有スペースで行わないよう気をつける。	1年
2	52	居間・廊下・玄関から玄関回りの環境整備。	屋内外の整理整頓による, 転倒予防・災害対策・美化。	介護用品など物品の整理をする。花壇や草の手入れをする。	3か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。